

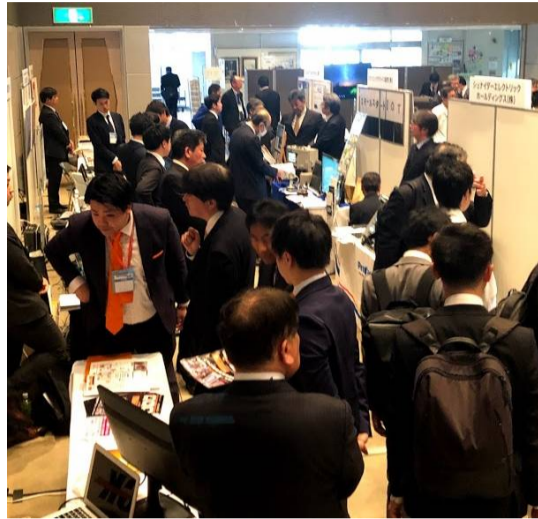
工業部会通信

(発行) かながわ経済新聞合同会社
〒252-0239 相模原市中央区中央3-12-3
商工会館本館1階
※プリントしてご自由にお読みください。

かながわ経済新聞
KANAKAI

県内13会議所など協力 26社参加で展示会

I・Tツール大集合 来場者400人超で盛大に

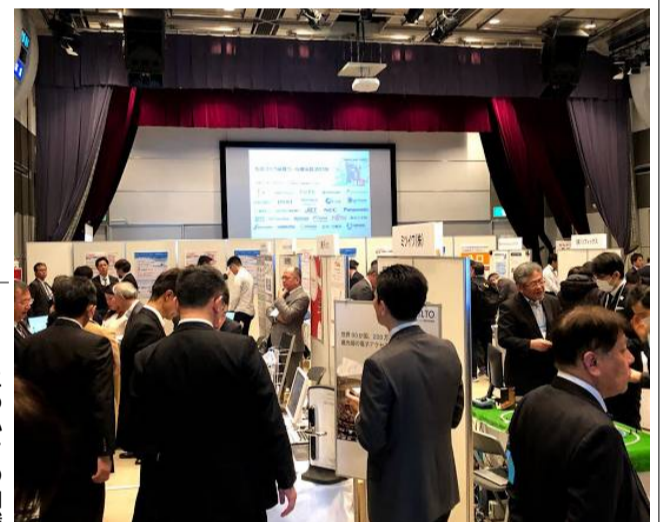


400人超が来場した展示会

低コストで導入しやすい「身の丈IoTツール」にテーマを絞った展示会が3月12日、相模原市立産業会館(同市中央区中央)で開かれた。「ものづくりIoTツール展示会」と銘打った同展示会は、相模原商工会議所工業部会が主催。県内13商工会議所などが協力した。

工業部会が主催

当日は400人超が来場し、同分野に対する関心の高さをうかがわせた。会場では26社45ツールが展示・紹介。各社と



26社45ツールが展示・紹介された

小田原市内に 新工場を稼働

高田金属塗装

IoTについての知識がなかったり、活用法が分からなかったりする中小製造業(ユーザー側)と、専門的な説明をしがちな出展企業(ツールベンダー)との「通訳」の役割を担っていた。人手不足解消や生産性向上の切り札として期待されるIoTツールだが、中小規模企業には普及していかないのが実情。そのため、同部会では、今回のような展示会を通じて導入を後押ししていくという。

「先入観」を排除する GETプロが経営講演会



講演した栄和産業の伊藤社長

栄和産業など講演

工業部会GETプロジェクト(豊岡淳委員長)は3月1日、市立産業会館で「先入観」を排除する」と題した経営セミナーを開催。障がい者雇用で先進的な取り組みをしている、自動車部品製造業、栄和産業(綾瀬市)の伊藤正貴社長と、障がい者の教育活動・就職支援を行う「えびな支援学校(海老名市)の伊藤伸一郎教諭が講演した。当日は35名が参加。障

がい者雇用におけるベストプラクティスを学んだ。同セミナーではまず情報提供として、伊藤教諭から支援学校卒業生の就業状況や在学中の実習の状況など、教育実習についての説明があった。その後、障がい者健康常者と同等に育成し、障がいの特性に応じて新事業を展開する伊藤社長より事例発表があった。参加者からは「送り出し、受け入れの双方から話を聞くことで、障がい者への理解が深まった」「障がいの有無を過剰に意識することが、挑戦するチャンスを奪っていることが認識できた」などの感想が寄せられた。

ビット・トレード・ワン IoT製品を拡充



電子部品製造「ビット・トレード・ワン(中央区上溝)は、IoT(モノのインターネット)関連製品を拡充する。

低価格の小型ボードコンピュータ「ラズベリーパイ(ラズパイ)」と組み合わせて使用するセンサー類を100種類投入する。現在までに計25種類を販売。今後2カ月ごとに3種類を追加ラインナップしていく。いずれも2000〜6000円で購入できる。センサー類の品ぞろえを増やすことで、必要な機能のみをIoTするカスタマイズ化が可能になるという。

同社では温度センサーをはじめ温度センサーなど、IoTの「定番」といえる製品のほか、さまざまなセンサーを販売。例えば、アンモニアや水素などの「臭気センサー」や電気使用状況が分かる「電流センサー」、外付けできるGPSなどをラインアップしている。

- 人間ドック
市国保補助等をご利用いただけます
 - 生活習慣病健診
全国健康保健協会補助 / 市がん検診等をご利用いただけます
 - 一般健康診断
定期健康診断 / 特殊健康診断等を行っています
- ※ご所属の「健康保険組合」「各種団体」の補助を受けられる場合がございますので、予めお問合せ下さい。



一般財団法人
ヘルス・サイエンス・センター
相模大野クリニック
相模原市南区相模大野 3-3-2-401 ボーノ相模大野 4階 TEL 042-740-6200